

水道情報活用システム標準仕様研究会
第1回 通常総会
【第一号議案】

2020年度事業報告(案)

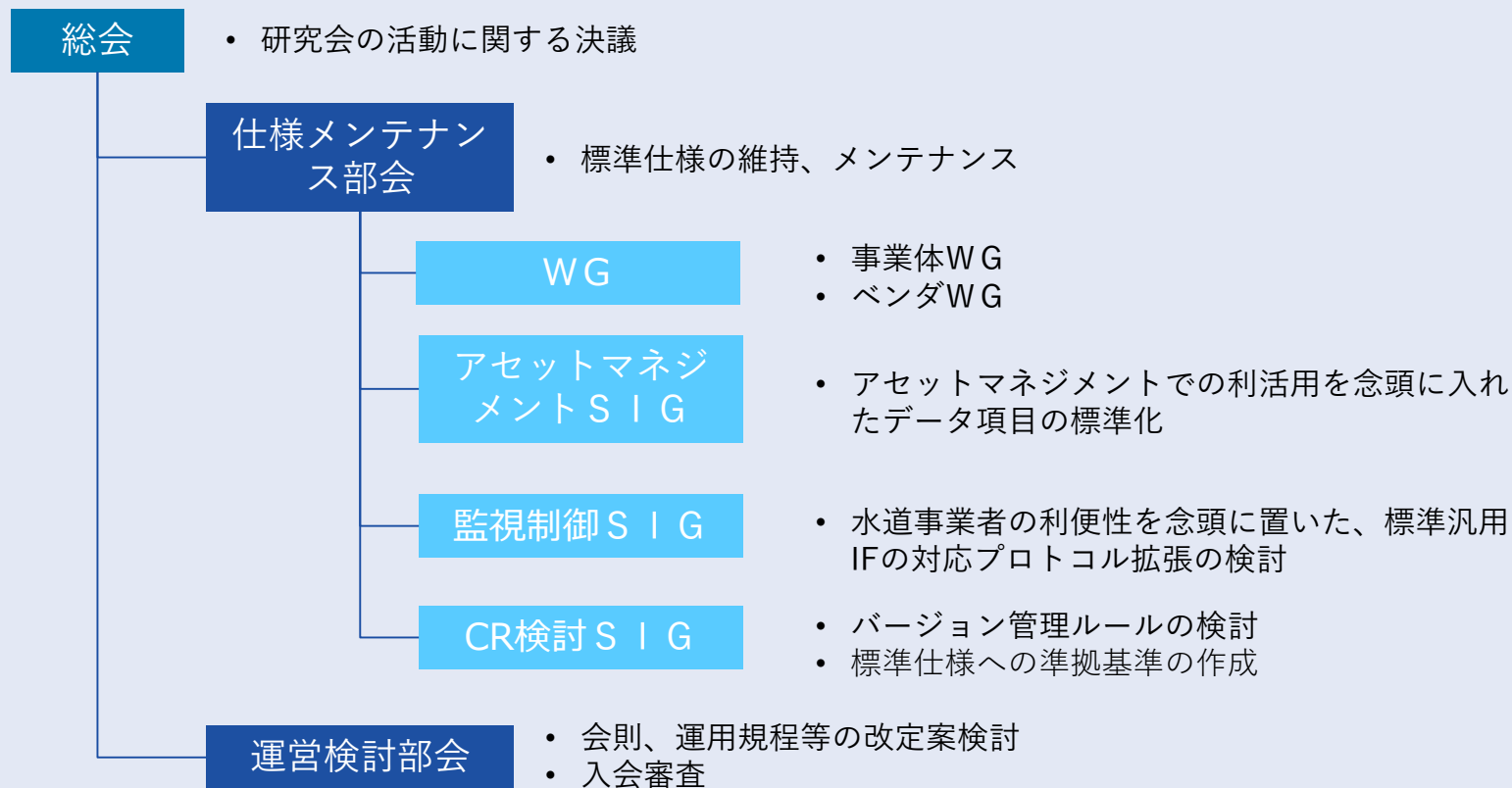
2021年4月22日

水道情報活用システム標準仕様研究会 事務局

1. 2020年度の活動計画
2. 2020年度の活動報告
3. 標準仕様書の管理・改定（部会の活動報告）
4. 標準仕様書の管理・改定（水道事業者WG・ベンダWGの活動報告）
5. 標準仕様書の管理・改定（アセットマネジメントSIGの活動報告）
6. 標準仕様書の管理・改定（監視制御SIGの活動報告）
7. 標準仕様書の管理・改定（CR検討SIGの活動報告）
8. 水道情報活用システムの普及活動
9. 水道情報活用システムの普及活動結果（会員状況について）

- ✓ 設立総会時点の2020年度の活動として、以下を予定しておりました。

水道情報活用システム標準仕様研究会



✓ 2020年度の主な活動は以下のとおりとなります。

会議名	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
審査委員会		▲ 研究会 活動報告					▲ 標準汎用IF仕 様書改訂審議	
総会	▲ 設立総会							
仕様メンテナンス部会		▲ 監視制御SIG アセットマネジ メントSIGの設置	▲ WGの設置			▲ CR検討SIGの 設置	▲ 標準汎用IF仕 様書改訂審議	
WG				▲ ベンダWG	▲ 事業者WG			
監視制御SIG				▲ ×2	▲ ×2			
アセットマネジメントSIG				▲	▲			▲
CR検討SIG								▲ ×2
運営検討部会		▲ 入会審査		▲ 入会審査		▲ 入会審査		▲ 事業報告・事 業計画の承認
普及活動（官民連携協議会への参加）			▲ 福島開催		▲ 高知開催		▲ 兵庫開催	

※未着手のCR（改定要求書）は、現在0件です。

✓ 以下のとおり、部会を開催しました。

概要

■ 4回開催

- 第1回（2020.9.8 WEB開催）アセットマネジメントSIG・監視制御SIGの設置
- 第2回（2020.10.14 メール審議）WGの設置
- 第3回（2021.1.27 WEB開催）CR検討SIGの設置
- 第4回（2021.2.17 WEB開催）標準仕様書の改定（案）の審議

■ 5回開催

- 第1回（2020.9.8 WEB開催）入会審査
- 第2回（2020.11.10 メール審議）入会審査
- 第3回（2021.1.12 メール審議）入会審査
- 第4回（2021.1.27 WEB開催）入会審査
- 第5回（2021.3.17 WEB開催）事業報告・事業計画の承認、入会審査

仕様
メンテナンス
部会

運営検討
部会

✓ 以下のとおり、WG活動を行いました。

概要

水道事業者 WG 開催概要

開催日：2020年12月3日（木）

参加者：水道事業者：会員12事業者（厚生労働省水道課様のお声かけにより、オブザーバー参加で100名超の会員外事業者にもご出席頂きました。）、プラットフォーム：1業者

内容：

- （1）水道情報活用システムについて（厚生労働省様）
- （2）水道情報活用システム標準仕様研究会の活動概況（研究会事務局）
- （3）水道標準プラットフォームの概況（株JECC）
- （4）事業者FAQのご紹介（株JECC）
- （5）水道標準プラットフォームデモ（株JECC）

ベンダWG 開催概要

開催日：2020年11月26日（木）

参加者：ベンダ：22業者、プラットフォーム：1業者

内容：

- （1）水道情報活用システム標準仕様研究会の活動概況（研究会事務局）
- （2）水道標準プラットフォームの概況説明（株JECC）
- （3）水道標準プラットフォームに関するFAQ（株JECC）

- ✓ 以下のとおり、2回のSIG活動を行いました。今後、検討テーマごとに議論を進めてまいります。

活動目的

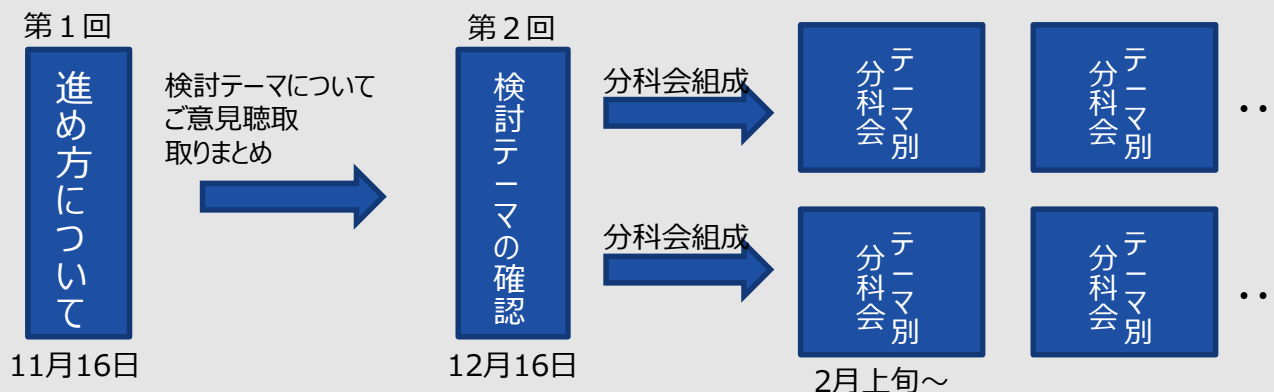
アセットマネジメントでの利活用を念頭に入れ、各水道事業者が保有する台帳項目を整理集約し標準化を目指す。

参加メンバー

27 会員（事業者9 会員、ベンダ16 会員、プラットフォーム 1 会員、特別会員 1 会員）

検討テーマ

- ①アセットマネジメントアプリケーションの開発
- ②ミクロマネジメントで必要な項目
- ③マクロマネジメントで必要な項目
- ④統計調査対応（水道統計調査、水道事業ガイドライン調査 など）

今後の
進め方

- ✓ 以下のとおり、4回のSIG活動を行い、標準仕様書の改定（案）を取り纏めました。改定（案）は第2回審査委員会（2/25開催）にて承認・公開されました。

活動目的	水道事業者の利便性を念頭に置いた、標準汎用インターフェイスの対応プロトコル拡張を行う。汎用的プロトコルのうち、OPC UAについては整備済であるため、その他の汎用的プロトコルより、小規模施設の監視を実現するため軽量なプロトコルとしてModbus/TCPについて整備を行う。
参加メンバー	18 会員（事業者4 会員、ベンダ13 会員、プラットフォーム1 会員）
活動内容	<ul style="list-style-type: none">■ 第1回（2020年11月6日 WEB開催）■ 第2回（2020年11月19日 WEB開催）■ 第3回（2020年12月11日 WEB開催）■ 第4回（2020年12月18日 WEB開催）
活動結果	<p>標準仕様書の改定（案）を作成、第2回審査委員会（2021年2月25日開催）にて承認され、標準仕様書として公開しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"><p>標準仕様書の改定概要</p><ul style="list-style-type: none">・標準汎用インターフェイスの対応プロトコルとしてOPC UAに加え、Modbus/TCPが追加となった。これにより、導入時の計装コストの低減が期待される。・セキュリティの観点より、Modbus/TCPは、監視利用のみ可（制御利用は不可）とする仕様と定められた。</div>

令和2年度 水道情報活用システム標準仕様の改定

【現状・課題】

- 既存設備が更新期を迎えるまでの暫定的な接続の運用として「標準汎用IF※」を定義し対応
- 監視制御等における導入障壁を極力下げするための標準汎用IFに関する検討が必要

※インターフェースの略

対象プロトコルの拡張 (Modbus/TCPの追加※)

※セキュリティ確保の観点から
監視利用のみ可
(制御利用は不可)

【効果】

- 既存設備での接続が可能となる通信プロトコルが拡張されることにより、システム導入時の計装コストの低減が期待される

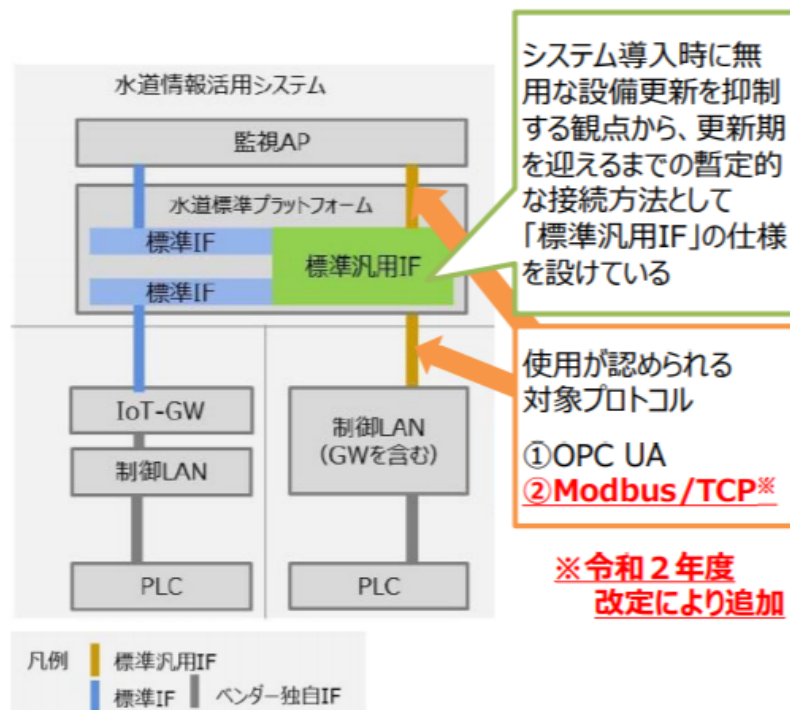


図 標準汎用IFのイメージとR2改定内容

出典) 令和2年度全国水道関係担当者会議 (厚生労働省)

- ✓ 以下のとおり、2回のSIG活動を行い、標準仕様書の文書管理ルール細則の取り纏めを行いました。仕様メンテナンス部会（4/14開催）にて承認・公表されました。

<p>活動目的</p>	<p>標準仕様書はドキュメント数も多いため管理ルールを定める。また、標準仕様書は随時改定が行われるため、その管理ルールを定める。</p>		
<p>参加メンバ</p>	<p>7 会員（事業者 1 会員、ベンダ 5 会員、プラットフォーム 1 会員）</p>		
<p>活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1回（2021年3月11日 WEB開催） ■ 第2回（2021年3月25日 WEB開催） 		
<p>活動結果</p>	<p>標準仕様書の文書管理ルール細則（案）を作成、仕様メンテナンス部会（4/14開催）にて承認・公表されました。</p> <div data-bbox="397 1019 1031 1308" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>標準仕様書の文書管理ルール細則の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 定義 (2) ドキュメント識別子の命名規則 (3) エディション番号の命名規則 (4) 公表年月 (5) 表記場所 (6) 運用方法 </div>	<p style="text-align: center;">表紙記載例</p> <div data-bbox="1051 925 1421 1319" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">水道情報活用システム</p> <p style="text-align: center;">基本仕様書</p> <p style="text-align: center;">WPSC001 EDITION1.1</p> <p style="text-align: center;">2021年2月</p> <p style="text-align: center;">水道情報活用システム標準仕様研究会</p> <p style="text-align: center;">WPSC001-Ed.1.1 2021-02</p> </div>	<p style="text-align: center;">表紙以外の記載例</p> <div data-bbox="1441 925 1845 1319" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>1.はじめに</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: right;">WPSC001-Ed.1.1 2021-02</p> </div>

- ✓ 研究会のホームページ（www.j-wpf.jp）を開設致しました。
- ✓ 会員専用のページも設けさせて頂きました。

研究会ホームページの構成イメージ

本ホームページは、会員様以外も閲覧可能となっております。
(会員専用ページを除く)

◆標準仕様書（最新版）の公表

◆入会のご案内

◆研究会について

◆お問い合わせ

会員専用ページ

会員様限定公開ページとなっており、研究会の各活動の資料・議事録等がアップされ、活動状況等をご確認頂けます。

◆総会

◆仕様メンテナンス部会

◆運営検討部会

◆ワーキンググループ

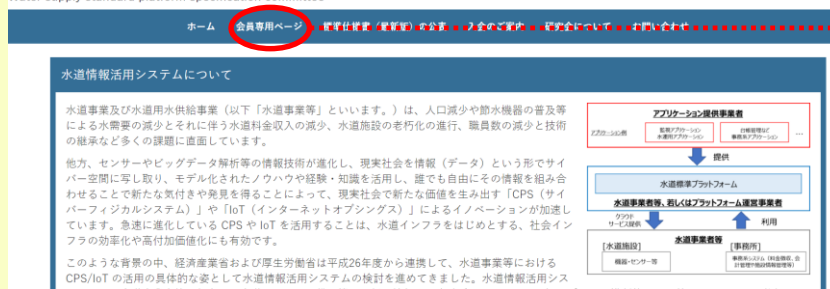
◆SIG

- ・アセットマネジメントSIG
- ・CR検討SIG
- ・監視制御SIG

◆標準仕様書改定案の公開

水道情報活用システム標準仕様研究会

Water supply standard platform specification committee

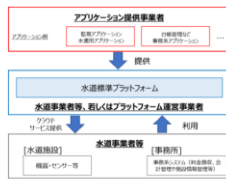


水道情報活用システムについて

水道事業及び水道用供給事業（以下「水道事業等」といいます。）は、人口減少や節水機器の普及等による水需要の減少とそれに伴う水道料金収入の減少、水道施設の老朽化の進行、職員数の減少と技術の継承など多くの課題に直面しています。

他方、センサーやビッグデータ解析等の情報技術が進化し、現実社会を情報（データ）という形でサイバー空間に写し取り、モデル化されたノウハウや経験・知識を活用し、誰でも自由にその情報を組み合わせることによって新たな気付きや発見を得ることによって、現実社会で新たな価値を生み出す「CPS（サイバーフィジカルシステム）」や「IoT（インターネットオブシングス）」によるインベーションが加速しています。急速に進化しているCPSやIoTを活用することは、水道インフラをはじめとする、社会インフラの効率化や高付加価値化にも有効です。

このような背景の中、経済産業省および厚生労働省は平成26年度から連携して、水道事業等におけるCPS/IoTの活用を具体的な姿として水道情報活用システムの検討を進めてきました。水道情報活用シ



- ✓ 厚生労働省・経済産業省主催の官民連携推進協議会などにて、研究会の紹介を行っております。

「令和2年度 水道分野における官民連携推進協議会」の開催について

水道は、市民生活や産業活動等に欠くことのできない重要なインフラ事業です。

一方で、水道施設の老朽化の進行及び人口減少による料金収入の減少や職員数の減少など、水道分野を取り巻く環境が年々厳しさを増す中で、これらの課題に対して、事業経営の効率化や広域化の推進など地域の実情に応じた形態により、事業の運営基盤を強化することが不可欠となっております。

このため、厚生労働省、経済産業省、公益社団法人日本水道協会及び一般社団法人日本工業用水協会が連携し、水道事業者等と民間事業者との連携（マッチング）促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を平成22年度から全国各地において開催しており、令和2年度も引き続き、以下のとおり開催を予定しています。

具体的な開催案内については、開催日の約1ヶ月前に、厚生労働省ホームページ等でお知らせします。なお、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、今後、協議会の中止、開催方法の変更を行う場合があります。

開催内容

令和3年2月4日時点

	開催都道府県	開催日時	会場	資料
第1回	福島県	令和2年10月15日(木) 13時30分～17時30分	南東北総合卸センター協同組合 イベントホール 「郡山市喜久田町卸1丁目1-1」	資料
第2回	高知県	令和2年12月10日(木) 13時00分～17時00分	高知県庁本庁舎1階 正庁ホール 「高知市丸の内1丁目2-20」 ※オンライン開催へ変更	資料
第3回	兵庫県	令和3年2月9日(火) 13時00分～17時00分	神戸ポートオアシス 5F会議室(502・503) 「神戸市中央区新港町5-2」 ※オンライン開催へ変更	資料

※開催日時、会場及び資料については順次掲載します。

水道情報活用システムに関する説明会（愛知）

開催日：令和2年12月21日

場所：愛知県自治センター

- 議題：①経済産業省情報産業課からの説明
②厚生労働省水道課からの説明
③水道情報活用システム標準仕様研究会からの説明
④水道情報活用システム導入水道事業者さまのご紹介

水道情報活用システムに関する説明会（宮城）

開催日：令和2年12月21日

場所：宮城県自治会館

- 議題：①経済産業省情報産業課からの説明
②厚生労働省水道課からの説明
③水道情報活用システム標準仕様研究会からの説明
④水道情報活用システム導入水道事業者さまのご紹介

厚生労働省HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/shingi/kanmin_00002.html

✓ 2021年4月1日時点の会員数は、52名となりました。

設立総会

(2020年8月4日時点)

参加者数：43名

(内訳)

水道事業者等：9名

ベンダ：26名

プラットフォーム運営事業者：1名

水道事業等関連団体：3名

有識者：4名



現在

(2021年4月21日時点)

会員数：52名

(内訳)

水道事業者等：16名

ベンダ：28名

プラットフォーム運営事業者：1名

水道事業等関連団体：3名

有識者：4名